

家庭学習ノート

1学期も残り1ヶ月を切ってきました。それぞれのご家庭での家庭学習は習慣化されてきたでしょうか。

「それが、なかなか定着しなくて……」「言われないとできないんです。」こんな声が聞こえてきます。

うまく、いっていないのであれば、その方法は変える必要があります。

逆に、うまくいっているのなら、その方法を継続しましょう。

「変えるといっても……どうしていいか分かりません。」ということがあるかと思えます。変えるのは、実は子どもではなく、親としての意識にあります。

まずは、環境を整えることです。

- ① 家庭学習に取り組む時間を自分で決めさせる。

「勉強は、いつやる？今、それとも何時からにする？」

(親に言われるのと、自分で決めるのでは責任感が違ってきます)

- ② 家庭学習の時間だけは、テレビを消す。

(集中して取り組める環境を作ってあげます)

- ③ ○付けは自分でさせる。

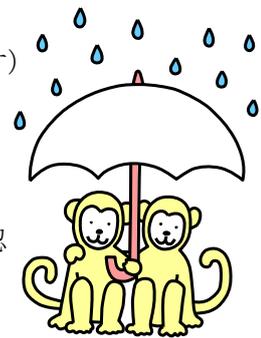
(低学年は無理ですが、3年生以上では可能です。その場で確認することが効果的です)

- ④ ノートは、絵や図を使って

(言葉だけでなく、絵や図を使うと分かりやすくまとめることができます。「見せる」ノートを目指します。)

- ⑤ ノートには、日付、タイトル、最後に感想を書きます。

(これは、意外と簡単なことです。タイトルをつけることで、今日は何をするのかが意識されます。最後に感想を書くことで今日の家庭学習を振り返ることができるようになります。これが明日の学習につながります。)



子どもたちが、楽しみながら家庭学習ノートを作っていくことが、実は継続の力になります。形式や正解にこだわらずにいることが習慣形成に役立っていきます。

親が変われば、子も変わる。この意識で子どもたちを見てください。

(文責 教頭)